



2013年2月28日

東横線・東京メトロ副都心線 相互直通運転開始記念！
東横線渋谷駅にオリジナルベルメロディを導入します

東京急行電鉄株式会社

当社は、3月16日に東横線・東京メトロ副都心線が相互直通運転を開始することを記念し、3月1日(金)から3月15日(金)まで、現在の東横線渋谷駅(地上2階ホーム)にオリジナルの到着ベルメロディを、また、3月16日(土)以降は新しい東横線渋谷駅(地下5階下りホーム)にオリジナルの発車ベルメロディをそれぞれ導入します。

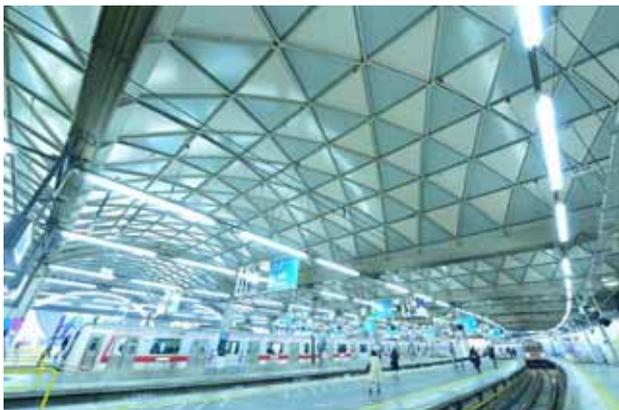
現在の東横線渋谷駅(地上2階ホーム)は、東京メトロ副都心線との相互直通運転にともない地下化され、85年の歴史に幕を下ろします。この取り組みは、長きにわたって多くのお客さまにご愛顧いただいた東横線渋谷駅の記憶を、いつまでも皆さまの心の中にとどめていただきたいという思いから実施するものです。

また、新しい東横線渋谷駅(地下5階下りホーム)では、オリジナルの発車メロディを導入することで、新たなターミナルとしての始まりを印象付けたいと考えています。

今回導入するオリジナルベルメロディの作曲には、音楽界屈指の鉄道ファンとして知られ、東急グループ主催「鉄道フェスティバル in SHIBUYA」のプロデューサーを務めた向谷実さんを起用します。

今後は、東横線渋谷駅を中心に「新・渋谷ターミナル、はじまる。」のスローガンのもと、東急グループ各社で渋谷を盛り上げるさまざまな取り組みを行なっていきます。

「東横線渋谷駅オリジナルベルメロディ」の詳細は別紙の通りです。



以上

【別紙】

「東横線渋谷駅オリジナルベルメロディ」の詳細

1. 東横線渋谷駅(地上2階ホーム)到着ベルメロディ

期 間:2013年3月1日(金)~3月15日(金)

曲 名:「Final approach」

作 曲:向谷実

曲のイメージ:まもなく終着駅に列車が到着する、その時を待つプラットホームの気持ちを音楽にしてみました。

さりげない鐘の音が85年の歴史に幕を降ろす東横線渋谷駅地上プラットホームへの敬意ともなっています。

2. 東横線渋谷駅(地下5階下りホーム)発車ベルメロディ

期 間:2013年3月16日(土)から

曲 名:「Departing from New Shibuya Terminal」

作 曲:向谷実

曲のイメージ:地下化され新たな幕開けを迎える東横線渋谷駅より、これから代官山への上り勾配区間に向けて

“さぁ 行くぞ!”という気持ちで制作しました。転調が続くことでその情景を表現しています。

(参考)

向谷実(むかいや みのる)



1956年10月20日東京都世田谷区出身。

日本を代表するフュージョンバンド、カシオペアのキーボーディストに20歳から加入。

数々の名曲・名演奏を残すかたわら「司会屋実」という異名がつくほどの軽快なMCでステージを演出している。

近年は三枝成彰氏との共演も多く、2011年には高円宮憲仁親王殿下追悼バレエ公演に出演。また、2001年から2009年まで名古屋芸術大学音楽文化応用学科の専任教授を務めた。

2010年からは、動画配信サービスを活用し、「向谷倶楽部」として、レコーディング現場の可視化等を試みている。

熱狂的な鉄道ファンでもあり、世界初の実写版・鉄道シミュレーション・ゲーム「Train Simulator」を株式会社音楽館の代表取締役として開発。PS2、PSP、PS3など さまざまな路線で、延べ30タイトルを発売している。現在は博物館や鉄道会社に技術が買われ、業務用ソフトの開発を多く手がけている。

また、鉄道の発車メロディや車内BGMの制作も担当するなど、「鉄道音楽家」としての知名度も高い。音楽のみならず、さまざまな鉄道モノの番組への露出も増え、活躍の場は絶えない。

以 上